

## 九州・沖縄地域における地域循環圏の形成を推進するための取組み（概要）

九州・沖縄地域における地域循環圏形成に向けた課題の整理、取り組むべき施策について検討するため、平成 21 年度に「地域循環圏に関する九州会議」を設置。また、テーマごとに専門的な検討会を設置し調査・検討。

九州会議の構成：有識者、関係団体・事業者、県・市町、農政局、経済産業局、環境事務所

### 1 昨年度の検討状況

昨年度、重点的に検討したテーマは以下の 2 テーマ

#### ○生ごみ対策・食品リサイクル ← 九州地域生ごみ対策研究会

- ・生ごみ分別処理、資源化に係るアンケート調査の実施
- ・民間リサイクル施設一覧表の作成
- ・先進自治体における取組状況の紹介
- ・生ごみ資源化実施市町村におけるコスト分析、資源化の効果
- ・市町村及び民間事業者における生ごみ資源化モデル調査の実施など

#### ○広域リユース・リサイクル※

- ・焼酎びんリユースの普及拡大方策の検討 ← 焼酎リユースびん推進会議
- ・小型家電等のレアメタルリサイクルに係る課題の分析、方向性の検討 ← 九州地域レアメタルリサイクル連絡会
- ・広域リサイクルが効果的な循環資源、効率的な循環方策の検討など

※国土交通省の広域ブロック自立施策等推進調査費を活用

### 2 今年度の計画

昨年度に引き続き「地域循環圏に関する九州会議」とその専門部会（注）を開催し、「生ごみ対策・食品リサイクル」及び「びんのリユース」について、その推進方策を検討。

（注）「生ごみ対策研究会」及び「焼酎リユースびん推進会議」を開催予定

#### ○生ごみ対策・食品リサイクル

- ・住民や自治体、事業者等がリサイクルに取り組むきっかけとなる情報の整理
- ・取り組みを始めるための手順書などの作成（モデルケースを通じた検証など）
- ・環境教育、セミナー等で活用できる普及啓発ツールの作成など

#### ○びんのリユース

- ・奄美大島におけるびん回収モデル事業の成果の検証
- ・酒造メーカーに対する実態把握調査、取組支援など